

【尾道支部 2024 年度スローガン】 同友会を活用し、新たな未来を築こう！～すべては自社のために～



【尾道支部新春講演会2025】

未来を変える会社・地域づくり
〜ビジョンを掲げ、今こそ実践者へ！〜

■報告者

(株)ヴィ・クルー 代表取締役

佐藤全氏(宮城同友会)

今月の見どころ

INDEX

1 月支部例会は、新春講演会&互礼会として、数年ぶりにグリーンヒルホテル尾道で開催しました。当日は尾道市長の平谷様はじめ、多くのご来賓に臨席を賜りました。新春講演会では、(株)ヴィ・クルー代表取締役の佐藤全氏(宮城同友会)が「未来を変える会社・地域づくり〜ビジョンを掲げ、今こそ実践者へ!」のテーマで報告しました。報告ではバス製造・開発に特化し、「走れば足るほど地球を守る車」というビジョンの構想。震災を乗り越えバスメーカーへの歩み。コロナ禍での深刻なダメージを率直にお話しいただきました。また 30 年続ける新卒採用。そして人口約 3.2 万人の宮城県白石市の地域課題への取り組みも余すことなく報告していただきました。自社と地域の希望は「現状の対極」にあると締めくくられました。その後の新年互礼会ではご来賓を交え、活発に交流が行われました。

- P2.3.....1 月支部例会
- P4.5.....青年部例会
- P6.....経営労働委員会、女性部会
- P7.....支部理事会報告
- P8.....行事案内、スケジュール

新春講演会&互礼会

未来を変える会社・地域づくり ～ビジョンを掲げ、今こそ実践者へ！～

報告者 (株)ヴィ・クルー 代表取締役 佐藤 全 氏 (宮城同友会)

■日程：2025年1月17日(金) 18:30～21:00

■会場：グリーンヒルホテル尾道

令和7年1月17日(金)にグリーンヒルホテル尾道にて尾道支部新年互礼会が開催されました。

報告者は宮城同友会から、前中同協共同求人委員長を務められていた、株式会社ヴィ・クルー代表取締役の佐藤全氏をお招きして講演して頂きました。

佐藤氏は当時経営危機にあった父親の経営する会社に入社したが、お荷物部署であったバスセンターの改革を任せられ再建に向けて動き出す。それが今の株式会社ヴィ・クルーでした。

将来が見出せない不安から同友会に入会し、経営指針を成文化化する中で社員を巻き込んだ10年ビジョンを作成し、値決めのしにくいバスの修理等の業務から、値決めのしやすいメーカーをめざして経営していったいろいろな成功体験や途中の苦悩を報告して頂きました。

なかでも10年ビジョンの作成の仕方が印象的でした。社員全員で今の現状認識を行い、ビジョンを対極で考えるというやり方です。

例えば、化石燃料の車→代替えエネルギーの車や走れば走るほど環境汚染→走れば走るほど地球を綺麗になど全く反対側の発想です。これらから考えた10年ビジョンを達成する為に3年後はここまでやろう、5年後はここまで来ないといけないと目標設定を行っていました。

そしてこれらを入れ込んだ経営指針書を外部の人を招いて発表する事により、必ずやらないといけない状況に自分を追い込むという話をされてきました。

講演の途中でこんな話もありました。経営指針と社員教育、新卒求人は同時にやっていくから企業は育つんだと。

佐藤氏は30年間新卒採用を継続する事と、入社した社員の教育もしっかり行っていました。他社は高齢化が進みどんどん技術者がいなくなっていく中でも自社は大丈夫。今は技術的に勝てない会社でも、10年後は技術で勝てる会社になろう。その考え方は私も好きで大変共感しましたが、やはり私と違うのは実際にそれだけの技術をもった社員に育てる為に、どんな人が来ても育つ環境づくりの仕組みをつくっている事でした。

あとから教えて頂いたのですが、社員を育てる環境づくりは、社員でプロジェクトチームをつくり1年以上かけて作り上げたものでした。そういう環境づくりがあるからこそその未来がそこにあると感じました。

他にも窮地に追い込まれた時、社員に背中を押してもらって次のステップに進めた話や、コロナで大ピンチの時には、特化した事業から新しい事業展開へ方向性を見直した事など様々な体験報告をして頂きました。

今回の報告を聞いて、ビジョンを掲げて実践していく事の大切さと、社員としっかりとコミュニケーションをとり同じ方向性を共有し、継続していく事が大事なんだと再認識しました。

そして実践していけば必ずいろいろな困難もあるとは思いますが、諦めずに挑戦し続け成功に導ける経営者になっていこうと思います。

最後になりますが、地域の困りごとを解決できるのは同友会しかないという話もありました。

私も同友会で学んだ事を自社に落とし込み実践し成長していき、地域になくはならない企業、地域に貢献できる企業になっていこうと思います。

大変貴重な報告を聞かせて頂き、ありがとうございました。

(株)西川組 高重 直文



例会報告者への感想、フィードバック

1月支部例会の参加者は70名でした。そのうち、22名の方から回答をいただきました！ご協力、ありがとうございました。

- 苦勞の多い中、心折れることなく取り組んでおられる姿勢に感動しました
- 大ボラを実現する体現者の話が聞いて勉強になりました。90%実現可能な事しかしてこなかった自分が伸びない理由はここだと改めて実感しました。今年少しは大ボラ吹けるようにしたいと思います。
- 発表をありがとうございました。報告内容には、「現状認識と認識後のステップ」、ここが重要に受け取らせていただきました。売上がマイナスのとき、会社も自身も状態が悪いとき（本当は良いも悪いも無いのだけれど）、ありのままに認識する難しさ、見たくないものを直視する勇気。そして受け入れて行動する。
- 報告時間を80分くらい提供すれば、もっと事例を深掘りして頂けたように感じた
- また、ポジティブな考え方をいただきました。ありがとうございました。
- 後半が駆け足になってしまったので残念でした。
- 講演会の内容が勉強になってよかった。
- 遠路はるばるお越しになり、震災やコロナ禍を乗り越えてきた佐藤さんのお話しにとても勇気づけられました!! 弊社も自社製品に磨きをかけて商いに精進しようと強く思いました。
- メーカーになる事って普通は考えない事だと思うけど、チャレンジして開拓してやり遂げるパワーがすごいと思いました。
- 10年ビジョンの作り方を参考にして、社員と共に実践していきたいと思えます。
- NHKで放映されたり大手企業から声をかけてもらったり、中小企業にとっては夢のようなお話しを聞いてすごく励みになりました!
- これまでの企業努力や取り組み等が聞いて、自社に、生かせる事が多々ありました。
- 対極の考え方は新しい考え方だったので参考にしようと思いました。事業の種類が1つというのもリスクという話があって、これからの自社の事を考えるきっかけになりました!
- ビジョンを考える時、現状との対極で考えると言われたことがとても心に残りました。今の延長ではないありたい形を考える上で大切なことだと思いました。
- 佐藤さんの仕事の取り組みは大変参考になりました。逆説的な発想での取り組みから社員さんのやる気を引き出す考え方は自社でも取り組んでみたいと思えます
- 今の現状と対比しているものを10年ビジョンとするという考え方と、そこからの逆算の精度に驚きました。
- 宮城から講師が来てくださりとても良かったです
- 挑戦をしていくことが大事であり、それが次のステップにつながることを教えていただいた。ありがとうございました。
- 10年ビジョンや期限を決めての目標などやらなければならない事の再認識ができた。大きな夢を見るということもとても勉強になりました。



1月18日(土)SIMA salonにて2025年最初の例会が開催されました。今回の例会は例年行っている【今年の一文字】の発表に加え、尾道青年部第23期、24期スローガンの【踏み出そう、仲間と共に頂へ】を基に、3年後~7年後の中期ビジョンを発表するという内容でした。中期ビジョンを経てそのビジョンに向けての一文字を発表するという初の試みでしたが青年部の仲間それぞれの頂を聞き自分も負けていけない、もっと成長したいと一層身が引き締まったよい例会だったと思いました。自分は想いやビジョンを言葉にして伝えることがとても苦手でも話せるかとても心配でしたが会社についての現状や会社の未来をどう伸ばして行くかをしっかりと考えられる内容になっていったと思いました。途中一文字が被ってしまうことがありましたが、一人ひとり違った意味や考え方があり、その部分でも仲間の事を知れてお互いの事を理解しあえる時間だったと感じました。その後懇親会の前に村上直史さんの社長就任祝いサプライズパーティーを執り行い、企画準備の段階から村上さんをどう喜ばせるか、どう感動させるかを真剣に話し合い当日、村上さんから感動の涙と決意の言葉を頂きサプライズはしっかりと成功しました。懇親会では先に発表したビジョンや一文字について青年部の仲間と共に語り合い、共有しあい、頂に向けて大きな一歩を踏み出した実りある例会だったと思います。

23期、24期の清水部会長体制の青年部はもう一年続いています。これからも楽しく青年部の仲間から学びを深め自社の頂へと成長していきたいと思えます。そして24期は村上小組で最高だったと思えるようしっかりと人と関わり濃密な時間を過ごせるよう行動していきます。

(有)尾道鋼材 亀田仁志





7年後 イベント業界の毛利家になる



ベトナムにおもちゃ工場をつくる



みんなが楽しそうに働き成長していく会社
ベトナム、カンボジア、沖縄北南、宮古島、尾道へ展開



5年後社長交代
自社で解体工事などを出来る会社にしていく



3年後支援先を増やす
売上 TO B 事業を 5 割化粧品売上 5 割にしたい



3年後父にしっかりと任せて貰い事業承継をする
年収を一億にする



5年後にはいろいろな隙間を埋めていく



5年後尾道で雇用 No.1
障害を持つ方の雇用を促す事を尾道で一番にしたい。



5年後新規事業を展開し、ブランドの立ち上げを目指す



福山で一番ありがとうと言われる会社になる
3年後 100 件にし、地域に根差した会社にする



福山で一番ありがとうと言われる会社になる
3年後 100 件にし、地域に根差した会社にする



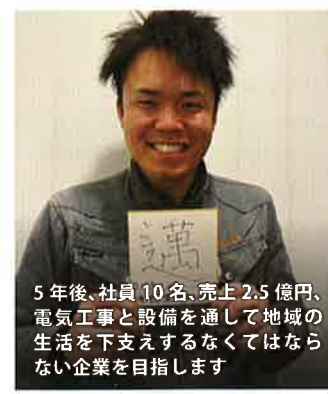
地域社会にとってなくてはならない会社になる



10 億円企業になる
4 年後 5 億円企業になる
陸上版水先案内人になる (村上水軍のようになる)



5 年後 鎧をネットで販売 侍の文化をひめる京都宮島 年収 6 億 社員数 20-25 名



5 年後、社員 10 名、売上 2.5 億円、電気工事と設備を通して地域の生活を下支えするなくてはならない企業を目指します



地域社会にとってなくてはならない会社になる



5 年後美容室 3 店舗ヘッドスパ 5 店舗



社内体制の改革と新たな事業



地域社会の課題について目が向き社会に影響を与える経営者になる



3 年後 地域に残る強い企業になる

損益計算書の活用方法

講師

池永経営会計事務所 中小企業診断士 鉄本一生 氏

■とき：2025年1月29日（水） ■会場：工房おのみち帆布

1月の経営労働委員会勉強会に参加させていただきました。
3ヵ年利益計画を作成する知識を身につける勉強会の、3回シリーズの第2回目です。

今回は、「つながってる！？『SWOT分析』と『労働分配率』」というテーマで、SWOT分析を実際に損益計算書につなげていく方法、会社の強みが実際に売りに上げに還元できているかどうか？どうすれば還元できるかという内容でした。

実際の会社の強みが中小企業と大企業によって違って来ることや、会社の労働分配率への還元の仕方、考え方を講演いただきました。

SWOT分析で、強みの中に「従業員の安全運転の教育が行き届いている」という物があれば、「燃費を抑えながら運転することで、燃費<経費>を抑えることが出来ている」。「整理、整頓、清掃、清潔、躰5Sが強い」という物だと「探し物が少なくなり生産性が上がる」。「お客様との信頼関係が構築で来ている」であれば「品質を守るため値上げを受け入れてもらえる<売上が上がる>」等。会社の強みが会社の付加価値を上げる材料、という事です。

そして明文化した強みを実際に数字に結び付く形に変換していきマーケティングにどのように生かしていくかを学ばせていただきました。

逆に強みだと考えられる事も、大企業相手に考えると、弱みになったりすること、資本に限りのある中小企業にとって、強みはモノ・カネよりもヒトに依存することが多いので、強みを発揮するためのヒトへの投資が必要だと学ばせて頂きました、ありがとうございました。3回目もぜひ参加させていただきたいです。

(有) REED WORKS 火田 貴之



女性部会

1月例会 社員のやる気を出させる話し方

報告者

山陽工業(株) ホテル事業部 接遇課長／尾道第一ホテル サブマネージャー 岸上 美紀 氏

■とき：2025年1月23日（木） ■会場：おのみち河野屋

女性部の勉強会は部員さんからのリクエストで「社員にやる気を起こさせるには、自分で考えて動くようになるには」というテーマで行いました。まず、やる気の「やる」とはということなのか？というところから4チームに分かれて話し合い、各チームで出し合った意見を岸上さんにアドバイスをいただきながらまとめていくというワークショップを取り入れた勉強会になりました。

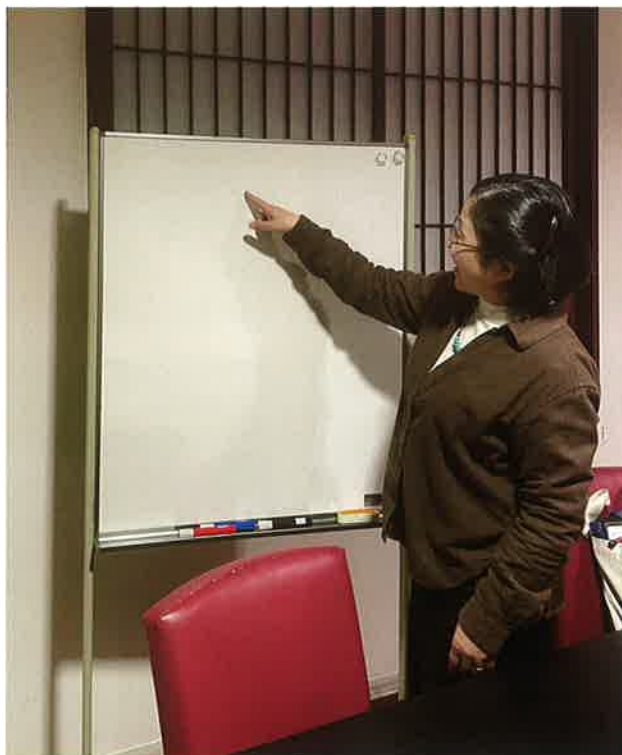
10人いれば10通りの意見が出ます。

社員もやはり一人一人個性を持っています。

経営者としてその多様性に対応できるよう、社員の良さを伸ばせるよう、いろんな視点からものを見る目を持ち、柔軟な考えを持ちたいと思いました。

また、何よりも、社員を信じるということが、やる気を起こす原動力になるのではと思いました。

NPO 法人工房おのみち帆布 島田 美鈴



議長：小坏副支部長

■ 開会挨拶（岩田副支部長）

※岩田副支部長より、開会挨拶がありました。内容は省略します。

■ 確認・報告事項

- ※1 月新春講演会および新年互礼会のふりかえりと反省を行いました。協力いただいた方への感謝とお礼が述べられました。
- ※今後の支部例会の準備状況について報告がありました。
- ※2 月支部例会は参加目標会員 40 名、オブザーバー 5 名の総勢 45 名に取り組みます。参加呼びかけをしていますが、まだまだ参加は少ないため、お声かけにご協力をお願いします。
- ※3 月支部例会は、1/30 にプレを行いました。この日は報告者の㈱ファーストスタッフ 代表取締役 高藤 孝一 氏（広島西支部）に経営指針を見せていただきました。テーマは「創業 10 年 経営指針に出会って 5 年の変革」です。

■ 県理事会の報告（岩田副支部長）

- ※ 報告のポイントは以下。詳細は省略。詳しくは事務局にお尋ねください。
- ・討議事項は「総会議案作成に向けて～今年度の振り返り」を行いました。その後のグループ討論ではスローガン、重点方針、各セクションの今年度のふりかえりを行いました。

■ その他

※2024 役員オリエンテーションの参加呼掛けと名簿アプリのダウンロード率、第 82 回尾道みなと祭りへの協賛金の協力についてが確認しました。

■ 討議事項

テーマ：中期ビジョン策定と推進に向けて その4

※立石支部長から 2025 年度のスローガン案「学びを即実践！同友会で共に未来を創ろう～つながりを力に、自社の進化を～」。方針案、合同委員会の目的、会員増強の取り組み、重点方針について提案がありました。その後、浮田総会議案検討委員長から、総会議案作成の進め方が提案されました。質疑応答を行い全体で意思統一を行いました。

■ 委員会・部会の報告

- ※ 各委員会・部会より報告がありました。
- ※政策環境委員会（池田委員長）
・1/14～31の期間行った2024年度第2回経営課題と政策要望アンケートへのご協力ありがとうございました。回答数は県全体で2072。回答率は69%で、過去最高を更新しました。尾道支部の回答数は80。回答率は64%で過去最高を更新しました。いただいた回答は、中国経済産業局はじめ、県各市など行政機関、日本銀行広島支店など地元金融機関にも届け、中小企業の経営課題を説明しています。尾道市にも届けています。前回は財務省まで話が共有されました。年々、注目度は高まっています。国や県、市の政策に反映されるころまではたどり着いていませんが、地道に続けられれば、そこにたどり着くと宮崎県政策委員長は言われています。次回は7月です。引き続きご協力をお願いします。

■ 増強の情報交換（正副・委員長・部長）

※各委員会・部会より、入会候補者や退会希望者の情報を共有しました。

■ 承認事項

1. 入退会の承認（九十九組織総務委員長）

今年度目標会員数	現在会員数
130名 <small>年度末まで</small>	125名
【入退会のお知らせ】	
入会希望者 1 名 オノミチファッションワークス 代表 吉田さちえ 氏 ※2025年2月5日現在 会員数は125名です。	

■ 閉会挨拶（勝原理事）

※内容は省略します。

■ 次回の理事会

3月5日（水）19:00～ 会場：府中市内（仮）

尾道支部 2025 年 3 月 委員会・部会行事のご案内

組織総務委員会

- 日時：3月日（）19時
- 会場：
- 内容：仲間づくりの進捗

広報委員会

- 日時：3月17日（月）
- 会場：
- 内容：でべらミーティング

経営労働委員会

- 日時：3月6日（木）および28日（金）
- 会場：サテライト会場および Zoom
- 内容：財務計画 part1 & 財務計画 part2

求人社員教育委員会

- 日時：3月日（）
- 会場：
- 内容：

政策環境委員会

- 日時：3月日（）
- 会場：
- 内容：

青年部会

- 日時：3月9日（日）
- 会場：JR尾道駅前港湾緑地一帯
- 内容：ぶちええ尾道

女性部会

- 日時：3月日（）
- 会場：
- 内容：
- 講師：

支部理事会

- 日時：3月5日（水）19:00
- 会場：府中市内（予定）

3月支部例会

「創業 10 年 経営指針に出会って 5 年の変革」

- 日時：3月25日（火）18:45～20:45
- 会場：市役所 2F 多目的スペース
- 報告者：（株）ファーストスタッフ 代表取締役 高藤 孝一氏（広島西支部）

スケジュール

2025 年 3 月						2025 年 4 月				
5	6	9	17	25	28	2	3	12	17	21
支部理事会	経営労働委員会	青年部会(ぶちええ尾道)	広報委員会	支部例会	経営労働委員会	支部理事会	経営労働委員会	青年部会	支部例会	広報委員会

